



# 長野県難聴児支援センター ニュースレター

平成 29 年  
No.11



長野県保健・疾病対策課

信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科

季節は夏から秋へ。いつの間にか吹く風が涼しくなり、山から赤トンボも下りてきています。太陽が沈むのもだんだんと早くなり、夕やけがきれいに映えるころとなりました。

そんな折、「夕方っていつ？」と子どもとやりとりしていたお母さんから、「あらためて『夕方』を教えようと思うと難しいですね」という相談をいただきました。はっきり「\*時」と決まった時間はないですし、「昼」と「夜」の間にある移りゆく時間帯。こうした「時間・季節＝見えないことば」は、意識しないと見落とされやすいですね。生活の中で「使って」身につけていくことば。印象的な出来事とともに、その場の風景やおいとともに染み入ることば。

「ゆうがた」の景色が色濃く見える秋。印象的な「夕方のワンシーン」に出会いたいですね！



## 8月「ファミリーセミナー」開催

8月19日（土）第3回のファミリーセミナーを開催しました。今回は「音の世界を知り、聞くことを楽しむ～お子さんとのやりとり・語りかけ」と題して、人工内耳センターの北野庸子先生よりお話をいただきました。

「音やことばをお子さんの耳に届けるには」

「難聴の赤ちゃんへの語りかけ方」

「おもちゃや絵本を通じたあそび方」等々  
日々の生活場面での具体的な接し方や語りかけ方を、わかりやすく教えていただきました。

印象的なことばもたくさんありました。（一例）

「はじめの一年間は『しゃべらせよう！』と思わないこと。聞き貯める時期ですよ」

「きこえの三大悪は『騒音・距離・反響』です。テレビをつけっぱなしにしていますか？」

「赤ちゃんはお話をしませんが目の動き、表情、体の動きで気持ちを表現しています。赤ちゃんの思いをくみ取って、ことばかけをしてあげましょう」



当日は、県内各地から、お父さんお母さん、おばあさん、産科医で助産師を務める方の参加もいただき、あらためてたくさんの方が赤ちゃんの成長を見守り、支えていることを実感することができました。ご参加いただいた方々、ありがとうございました。次回は「9月23日」を予定。（裏面参照ください）



## 「赤ちゃんとお聴器」 ～こんな時、どうする？～

ファミリーセミナーでも「お聴器をうまく使っていくためには…」というお悩みが寄せられ、北野先生からアドバイスをいただいているおうちがありました。当センターにも「お聴器」に関するご相談は多く寄せられます。

そこで、北野先生からいただいた「赤ちゃんとお聴器」に関する資料と、先輩のお母さんから教えていただいた「日々の実践」を、ご紹介いたします。



### お聴器を着けるときに、心がけることはありますか？



- ① 静かな環境で着けましょう。
- ② お母さん（お父さん）が、お聴器の音を聞いてみましょう。
- ③ 赤ちゃんにお聴器を見せてから、着けましょう。

- ① お聴器を着けるときは、赤ちゃんがびっくりしないようにテレビの音や、人の話し声などがあまりない状態「雑音が少ない」環境にしてから着けるようにしましょう。
- ② お父さんお母さんが、赤ちゃんの前でお聴器を自分の耳に着けてみます。  
大好きなお父さんお母さんがお聴器をしている姿を見て、「ぼくも・わたしも」と、お聴器に手を伸ばすかもしれません。
- ③ お聴器は「見せてから」着けるようにします。目の前でお聴器を見せて、「もしもし、着けるよ」と笑顔で話しかけてからお耳にお聴器を着けましょう。



### お聴器を着けた後は、何をしたらいいでしょう？



- ④ お顔を見てニッコリ。名前を呼んであげましょう。
- ⑤ 歌をうたったり、体遊びであそんだりしましょう。

- ④⑤ 「お聴器をつけると楽しいぞ！」という思いを赤ちゃんに感じてもらいましょう。  
「〇〇ちゃ～ん、はーい」「わあ！きこえたね～」「いいね～」と笑顔と一緒に喜びましょう。また、体遊び、手遊びも楽しいですね！  
♪たか～いたか～い（首が座ってから） ♪一本橋こちょこちょ～



## 家の中や、お散歩など 心がけることはありますか？



- ⑥身の周りの音を一緒に探して楽しみましょう。
- ⑦外した時は、専用のケース等にしまいましょう。

⑥補聴器を通して音が聞こえてくるので、ひとつひとつ「音の発見」を楽しみましょう。  
「ピンポ〜ン」とチャイムの音。「ガ〜〜」と掃除機の音。「ピーピー」とレンジの音。  
「ワンワン」犬の鳴き声。「ブブ〜」と車の音。「カンカン」踏切の音…。  
ひとつひとつの音に「あっ！」と耳に手を当て、音のする所に行ってみます。  
音のする「物」を一緒に見つけ、音の意味とイメージを楽しみながら学びましょう。

⑦補聴器は機械なので、水分や湿気には注意が必要です。お昼寝のときや外した後は、  
専用のケースに入れるなど乾燥を心がけましょう。（裏面参照）  
外すときは、補聴器を引っ張らずに、イヤモールドから先にはずすようにします。



## 補聴器を外して、口に 入れようとするのですが…



- 赤ちゃんの手に好きなおもちゃを持たせる。
- 「バイバイね〜」と明るく接して、次の「着ける」機会を待つ。

補聴器を外してしまう、口に入れる、着けてくれない…というお悩みはとても多いです。「音への反応」を楽しむ反面、「着けなくては…」というあせりも生まれて…。先輩のお母さんからお聞きしたお話しです。

「手が補聴器にいかないように」と、気に入ったおもちゃを持たせるおうち。おもちゃを持たせることで、補聴器をしている時間が長くなり、長くなるから補聴器の音にも自然と慣れた。というお話。

「追いかけてっこにならないように」と、サッと切り替えるというおうち。補聴器をもって後をついて回るみたいで苦しかったので、サッとその場は切り替えた。すると次にまた「着けるよ」のかかわりができるので、着ける回数が増えたそうです。

**一緒に音を楽しみましょう！ 何か工夫してみたことなどありましたら、またお聞かせください。**



## 第4回 ファミリーセミナーのご案内

### 先輩ママからの子育て体験談

- 1 日時 平成28年 9月23日(土) 14:00~15:30
- 2 場所 長野県難聴児支援センター (松本旭町庁舎2階『多目的室』)
- 3 講師 **立花 祐子さん** (松本在住 小学6年生Rくんのお母さん)
- 4 内容
  - ・ 出生から幼児期にかけて(家族の思いと実践)
  - ・ 幼児期から児童期にかけて(地域や人との連携)等
  - ※「福祉や教育」について(支援療育員;丸山)
- 5 参加費 **無料**

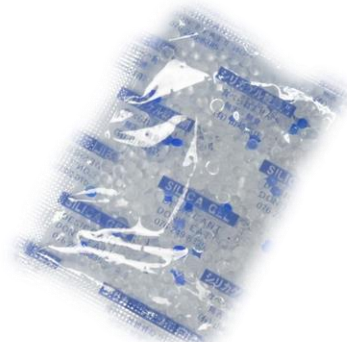


## みみよい情報

### ◇補聴器や人工内耳を湿気から守る「シリカゲル」

水遊びやお昼寝の時、補聴器を外したときは「専用ケース」で保護します。その時、活動中の汗や湿気から守ってくれるのが、乾燥剤「シリカゲル」です。(お菓子などについている「乾燥剤」は塩分や糖分などが付着している心配もあり、効力も低いので、専用の乾燥剤を使いましょう)

シリカゲルの色が変わったら再生したり、交換したりしましょう。



## 長野県難聴児支援センター

TEL:0263-34-6588

FAX:0263-34-6589

Mail:mimi@shinshu-u.ac.jp

住所:松本市旭2-11-30 松本旭町庁舎2階

支援療育員:丸山秀樹

※ご相談、お問い合わせ等  
お気軽にご連絡ください

